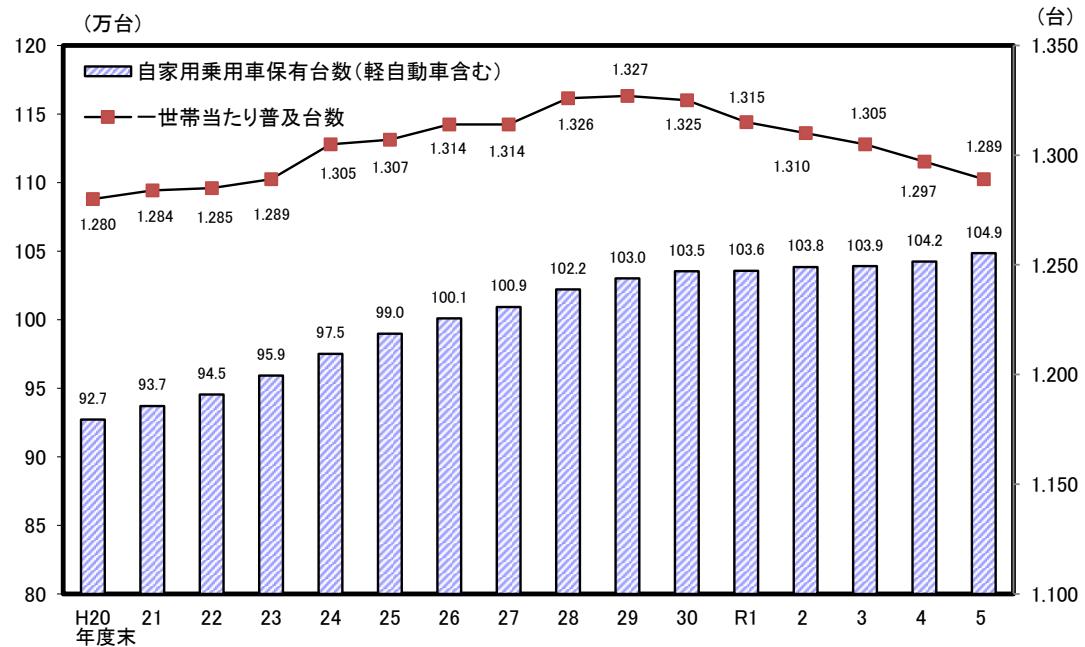


熊本県の自家用乗用車保有台数の推移



解説

【概要】

本県の自家用乗用車保有台数（軽自動車含む）は、平成26年度に100万台を突破した。その後も増加を続けていたが、平成30年度頃から増加のペースは落ちており、令和5年度末は前年に比べ0.6%増の1,048,541台となった。

一世帯当たりの普及台数の推移について見てみると、平成29年度をピークに減少しており、令和5年度末は一世帯当たり1,289台となっている。

○自家用乗用車の世帯当たり普及台数
自家用乗用車（登録者と軽自動車）の世帯当たりの普及台数は、（一財）自動車検査登録情報協会が毎月発行している統計書「自動車保有車両数 月報」の3月末現在と、総務省が発表する世帯数をもとに算出したもの。

○自動車保有台数
「登録自動車+小型二輪自動車+検査対象軽自動車+検査対象外軽自動車」のうち、現在ナンバープレートがついている自動車の台数。
※ナンバープレートがついていない展示車など（一時抹消車両など）は含まれない。

資料出所	調査期日	調査周期
*1 「自家用乗用車の世帯当たり普及台数」 (一財) 自動車検査登録情報協会	令和6年3月31日	毎年
*2、*3、*4 「自動車保有台数」 (一財) 自動車検査登録情報協会	令和6年3月31日	毎年